

サージモニタ SM10-003 型

取扱説明書

1.0 版

2025 年 11 月 21 日





株式会社サンコーシャ

Copyright © 2024 Sankosha, Corp. All right reserved.

- 目次 -

1.	使用上の注意.....	3
2.	概要.....	4
3.	製品構成.....	4
4.	外観・構造.....	4
4.1.	サージモニタ本体.....	4
4.2.	電流検出CT.....	5
4.3.	CTケーブル.....	5
5.	主要仕様.....	6
6.	取付・配線.....	7
6.1.	取付.....	7
6.2.	配線.....	7
7.	操作.....	10
7.1.	電源の投入.....	10
7.2.	トップ画面.....	10
7.3.	雷サージ計測について.....	11
7.4.	メニュー画面.....	12
7.5.	保存計測データの表示.....	13
7.6.	バージョン情報の表示.....	13
7.7.	ログデータの表示.....	13
7.8.	IP情報の表示.....	14
7.9.	アラーム接点のリセット.....	14
8.	設定.....	15
8.1.	RTC（リアルタイムクロック）時刻の設定方法.....	15
8.2.	保存トリガー値の設定方法.....	15
8.3.	アラームトリガ値の設定方法.....	16
8.4.	アラーム時間電流値積の設定方法.....	16
8.5.	アラーム接点出力時間の設定方法.....	17
8.6.	TCP/IPアドレスの設定.....	17
8.7.	専用コマンドポート番号の設定.....	18
8.8.	SNMP Trap送信先アドレスの設定.....	18
8.9.	LCDコントラストの設定.....	19
8.10.	LCDバックライト点灯時間の設定方法.....	19
9.	データの削除.....	20
9.1.	保存された測定サージデータの削除方法.....	20
9.2.	ログデータの削除方法.....	20
10.	お問い合わせ先.....	21

1. 使用上の注意

 禁止	本製品の使用目的以外での使用は絶対にしないでください。 ◇故障、通信不良の原因となります。
 禁止	本製品を屋外で使用する場合には、屋外対応品を使用してください。 ◇屋内対応品を屋外で使用した場合、故障、通信不良の原因となります。
 禁止	本製品を分解、使用環境以上の加熱、改造または部品を変更して使用しないでください。 ◇故障、通信不良の原因となります。
 禁止	本製品には、落下等による衝撃を与えないでください。 ◇損傷、故障の原因となります。

2. 概要

本製品は接地線などに流れる雷サージ電流を電流検出CTにて検出し、検出時刻、ピーク電流値、サージカウント値、時間電流値積および積算時間電流値積を製品の液晶画面に表示するとともに製品内部メモリに保存する製品です。

本製品の特徴として、外部PCとEthernetで接続することにより製品内部メモリに保存されたデータを遠隔で監視することができます。またSNMP、Modbusプロトコルに対応した製品となっております。

3. 製品構成

表 1

名称	数量	備考
サージモニタ本体	1	
電流検出CT	1	
CTケーブル	1	長さ 1m (ロック機能付き 3 心コネクタ(小)付き)
電源接続コネクタ	1	ロック機能付き 2 心コネクタ(大) (添付品)
接点出力接続コネクタ	1	ロック機能付き 2 心コネクタ(小) (添付品)
配線指示資料	1	
専用監視アプリケーションCD ^{※1}	1	データ管理ソフトウェア (外部 PC での遠隔監視ソフト)

※専用監視アプリケーションはオプション品です。

4. 外観・構造

4.1. サージモニタ本体

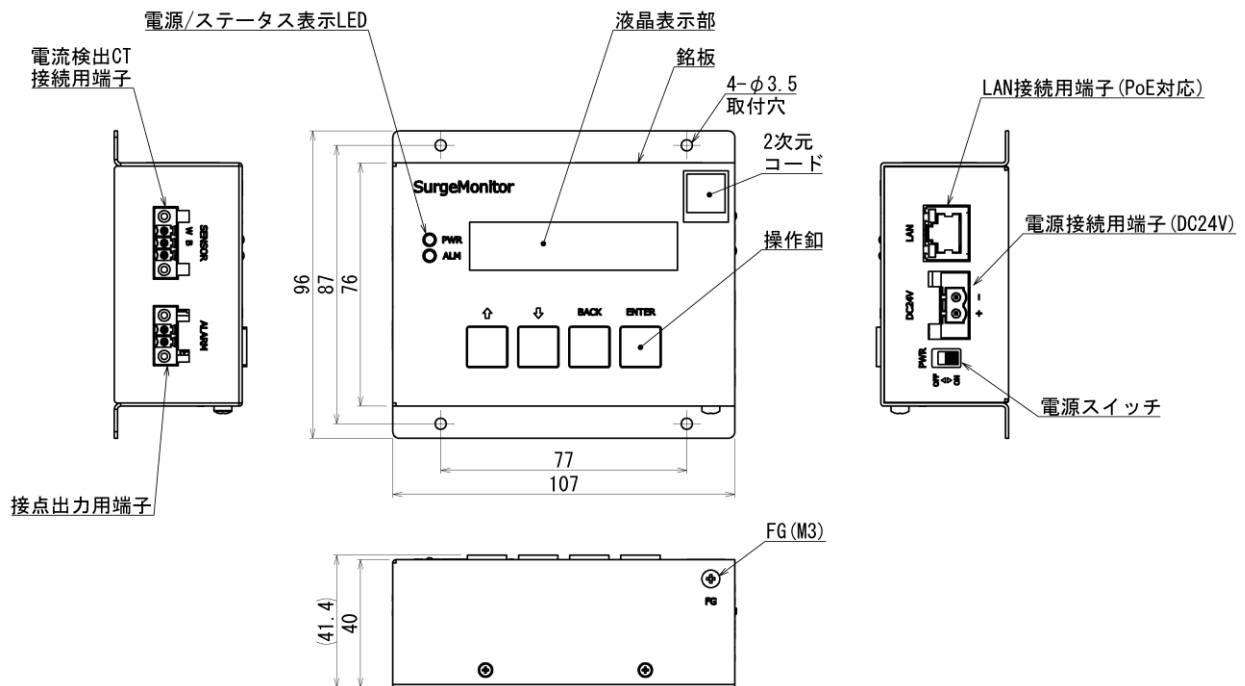


図 1 サージモニタ本体

4.2. 電流検出CT

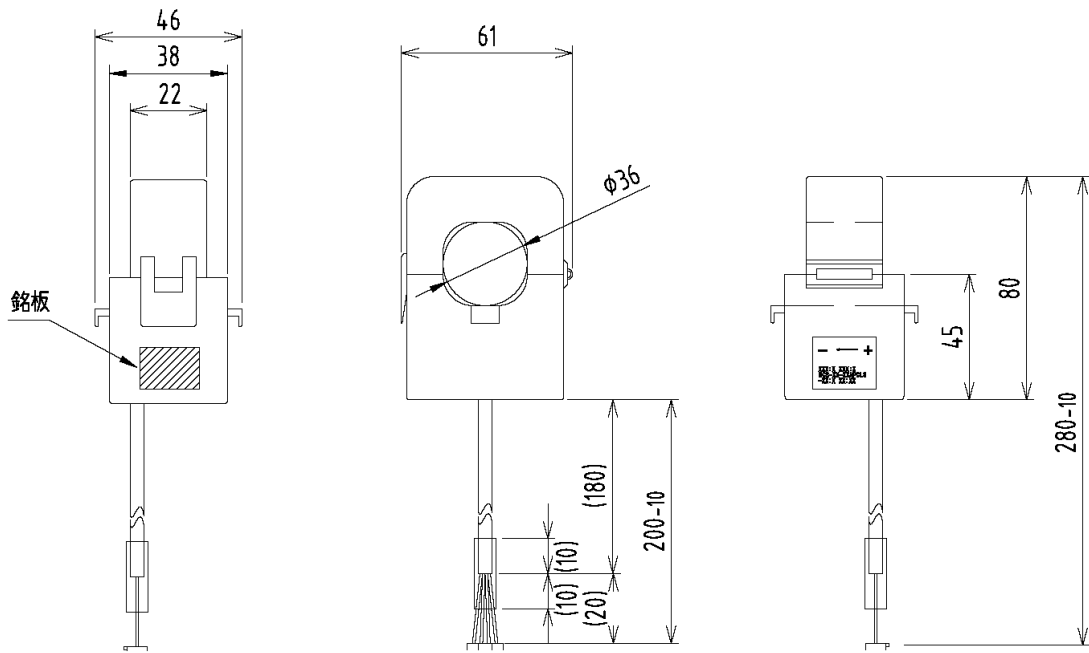


図 2 電流検出CT

4.3. CTケーブル

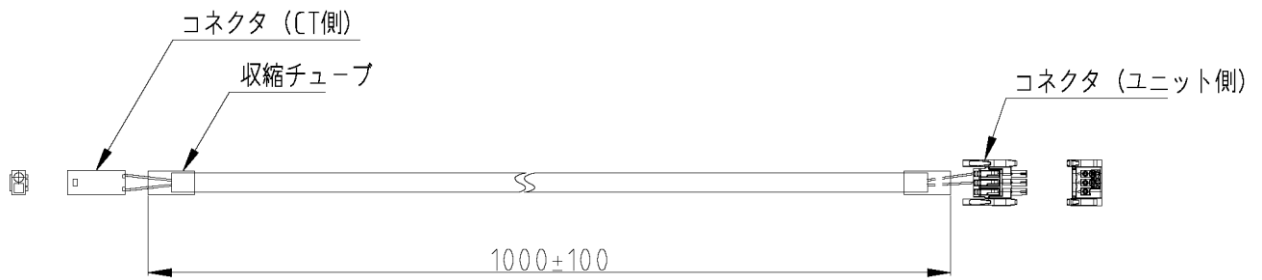


図 3 CTケーブル

5. 主要仕様

表 2

項目		仕様	備考
CT 絶対最大定格		20kA	
電流測定範囲		10A～10kA	
最小検出トリガレベル		10A	
測定精度	ピーク値	±10%以内	10/200 μ s、1kA インパルス波形に対して
	時間電流値積	±20%以内	
電流検出分解能		12bit	
測定表示項目		①検出回数 ②検出日時 ③ピーク電流値 ④時間電流値積 ⑤積算時間電流値積	
設定項目		①保存トリガレベル(A) ②アラームレベル(A) ③アラーム積算電流値積 (AS)	トリガレベル : 10A～5kA
データ保存件数		最大 999 件	999 件以上は 1 件目を上書き保存
時刻精度		月差 20 秒 (Ta : 25°C)	本体操作もしくは通信接続による遠隔操作により、時刻補正可能
駆動電源		DC24V \pm 10% PoE (IEEE802.3af)	
消費電力		5W 以下	
接点出力	方式	無電圧 a 接点	アラーム発報時、接点出力動作出力時間設定可能
	耐電圧	AC1000V 1 分間	
	連続負荷電流	120mA 以下	
	ON 抵抗 (最大)	20 Ω	
耐電圧	電源線～ケース間	AC500V 1 分間	DC 入力一括～ケース間
	信号線～ケース間	AC500V 1 分間	LAN、接点～ケース間
ネットワーク		10BASE-T/100BASE-TX RJ45 コネクタ	
対応プロトコル		専用コマンド、SNMP、 Modbus TCP	

6. 取付・配線

6.1. 取付

本体の取付穴に M3 ネジを使用して固定してください。

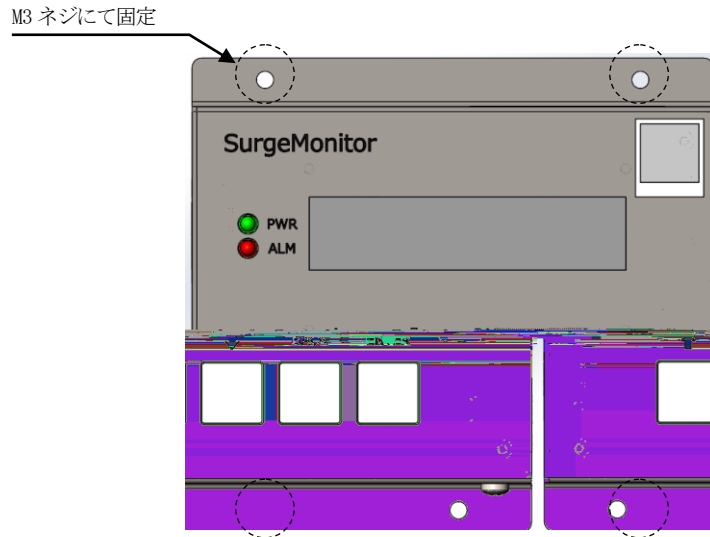


図 4 取付方法

6.2. 配線

(1) 電線の加工

サージモニタの各コネクタには $0.2\text{mm}^2 \sim 2.5\text{mm}^2$ (AWG26~12) の電線を接続してください。電線剥き線長さは 10mm としてください。(単線、撚線どちらでもかまいません)



図 5 電線の加工

(2) コネクタへの配線

本体には 4 種類のインタフェースがあり、それぞれコネクタプラグを使用して電線を配線します。

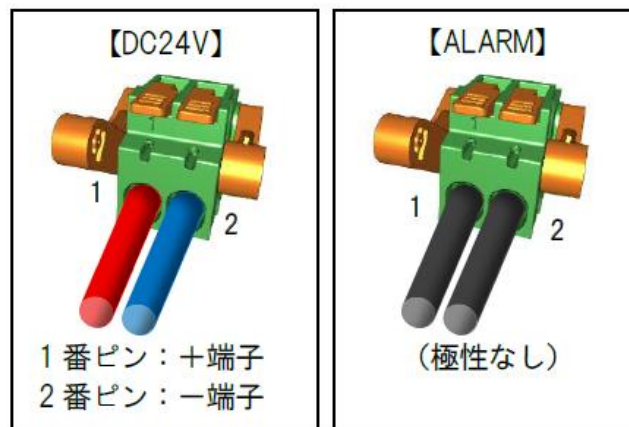


図 6 各コネクタへの配線

- ①コネクタプラグの電線固定レバーを上げ、電線を奥まで挿し込んでください。
- ②電線固定レバーを下げて、電線を固定してください。

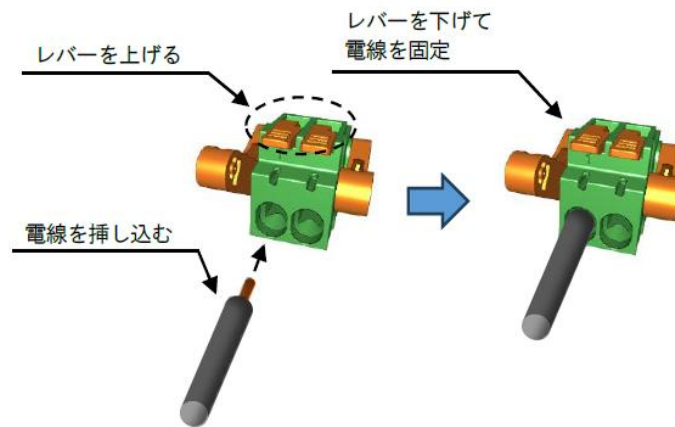


図 7 コネクタへの

接続

(3) 本体への接続

本体の印字に従い、各プラグ付ケーブルを本体へ接続してください。

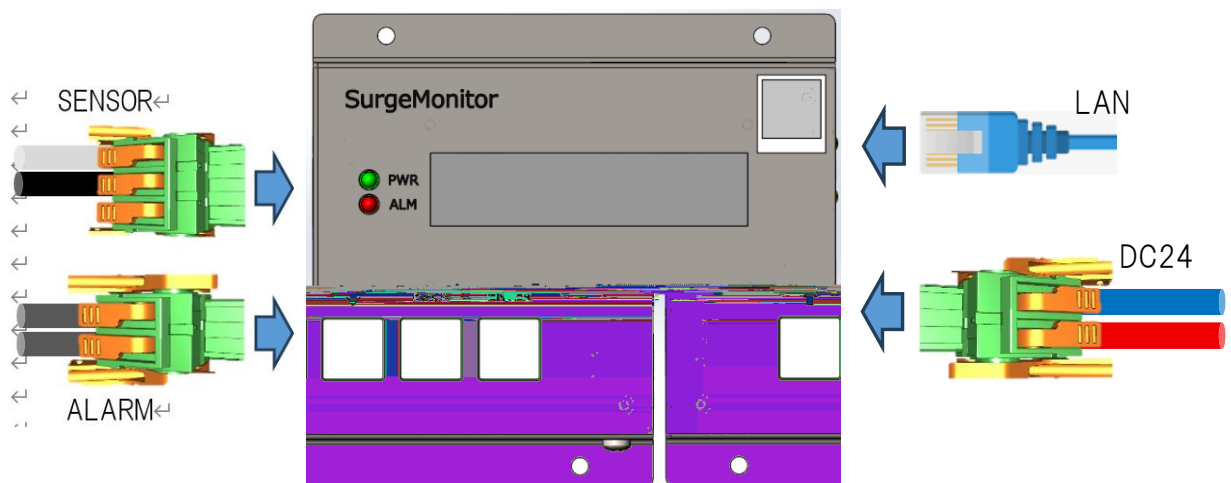


図 8 本体への接続

プラグ付きケーブルは対象コネクタへカチッと音がするまで挿し込んでください。

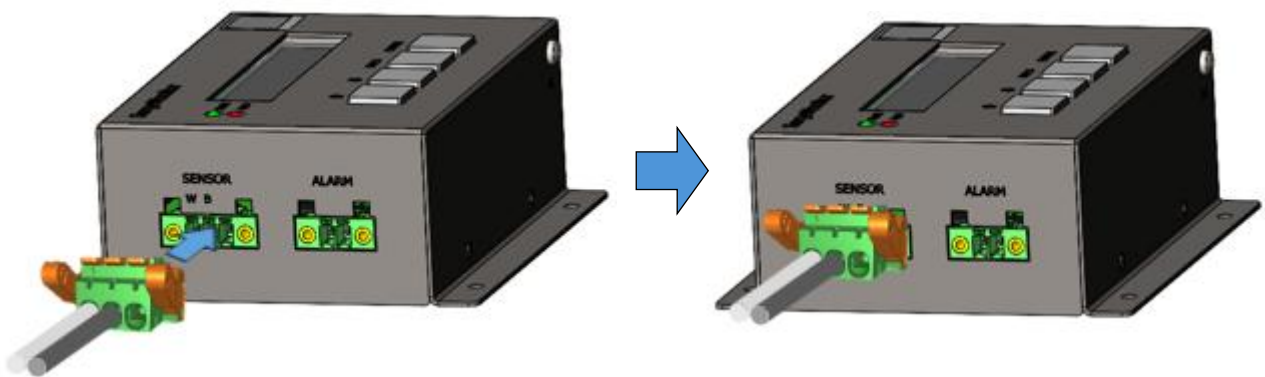


図 9 本体への接続

プラグ付きケーブルを抜く場合は、プラグ両脇のレバーを下に押ししてください。

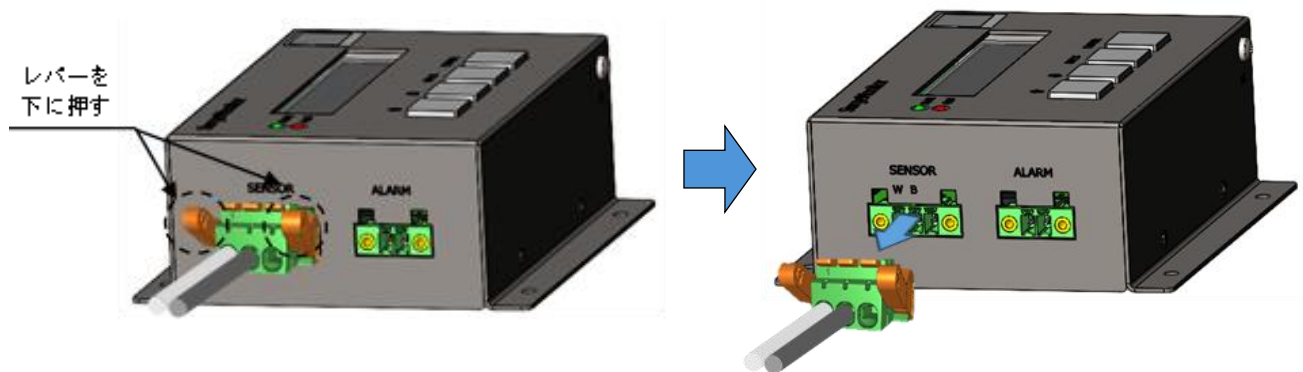


図 10 本体からの取り外し

(4) アースの接続

サージモニタ側面の FG 端子 (M3 ネジ) にケーブルを接続してアース接続してください。ケーブルは 1.25mm^2 以上の太さを推奨いたします。

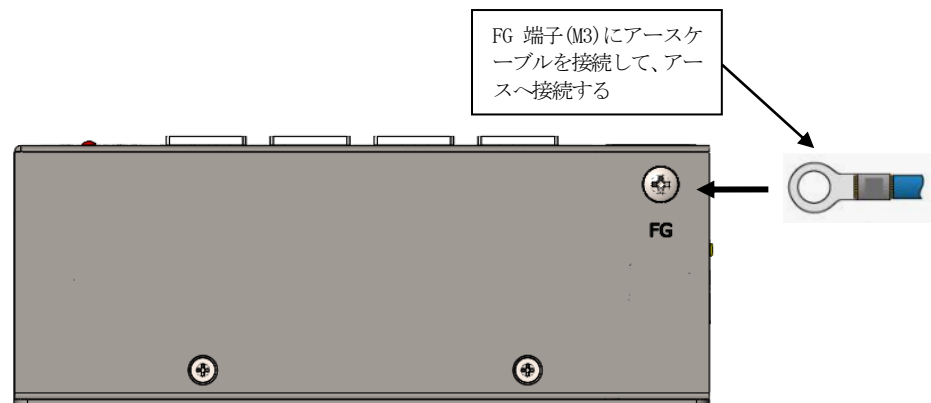


図 11 アースの接続

7. 操作

7.1. 電源の投入

電源スイッチを投入すると、「初期画面 (図 12)」が表示された後、トップ画面 (図 13) が表示され、ステータス LED が緑に点灯します。

装置に問題がある場合は、アラーム LED が赤に点灯します。

システムが起動すると起動ログが保存され、「7. 7 ログデータの表示」にて確認する事ができます。

※初期化 NG となった場合は、一旦電源を断にして、電源の再投入を行ってください。電源の再投入後も初期化 NG となる場合は、装置に異常がある可能性があります。

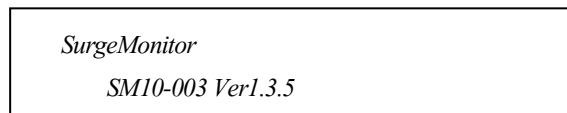


図 12 初期化画面

7.2. トップ画面

トップ画面 (図 13) は、本装置で常時表示される画面となり、現在時刻と保存されたサージカウント数、積算時間電流値積が表示されます。

時刻が未設定の場合は、日付時刻部分が図 14 の表示となりますので、「8. 1 RTC時刻の設定方法」を参照し、時刻の設定を行ってください。

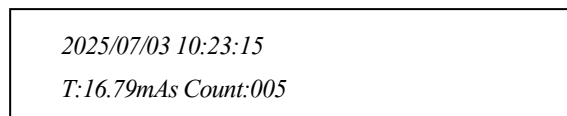


図 13 トップ画面

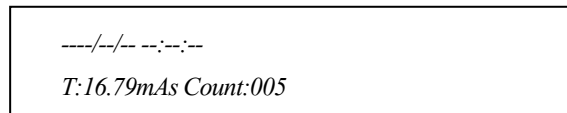


図 14 時刻未設定画面

※積算時間電流値積が 9999As を超えている場合、積算時間電流値積は「*T:9999As」と表示されます。

トップ画面表示中に雷サージを計測すると、計測された情報が一定時間表示されます。(詳細は、「7. 3 雷サージ計測」をご確認下さい。)

また、装置内部でエラーが発生した場合、アラーム LED が点灯しますので、「7. 7 ログデータの表示」を参考にエラーの原因を確認して下さい。

トップ画面で、「Enter キー」を押すと、「7. 4 メニュー画面」が表示されます。「Enter キー以外のキー」を押すと、バックライトが一定時間点灯します。

7.3. 雷サージ計測について

本装置は10A～10kAまでの雷サージ電流を計測することが出来、設定されたトリガレベル以上の雷サージや、設定された積算時間電流値積以上のサージを計測した際、データの保存（発生時刻及び計測電流値、計測時間電流値積、積算時間電流値積）や無電圧接点によるアラーム出力をすることが出来ます。

計測データは、最大999件まで保存され、それ以上のデータが計測された際は、古いデータから上書きされます。保存されたデータを閲覧するには「7.5 保存計測データの表示」を参照いただき表示してください。

また、トップ画面で雷サージが計測されると、計測されたデータが5秒間表示されます。（図15）

2025/07/03 10:23:15
Count:005 1.18kA

図15 雷サージ計測画面

データを保存するトリガレベル、アラーム出力のトリガレベル、アラーム出力の積算時間電流値積は別々に設定する事が可能です。

データを保存するトリガレベルを設定するには「8.2 保存トリガー値の設定方法」、アラーム出力のトリガレベルを設定するには、「8.3 アラームトリガー値の設定方法」、アラーム出力の積算時間電流値積を設定するには、「8.4 アラーム積算時間電流値積の設定方法」を参照いただき設定してください。

各トリガレベル値は、デフォルトで100Aとなっており、10A～5kAの範囲で設定することが出来ます。

また、アラーム出力に関しては出力時間の設定も可能で、デフォルトで5秒間の出力となります。出力時間は、0秒（出力なし）～60秒、常時出力と設定出来ますので、「8.5 アラーム接点出力時間の設定方法」を参照いただき設定してください。

※アラーム出力中に再度雷サージを計測した際は、最後に計測した時から設定された時間出力されます。

※計測範囲を超える電流値（10kAもしくは-10kAを超える電流値）を計測した場合には、計測データはそれぞれ「*10kA」「*-10kA」と表示されます。

7.4. メニュー画面

トップ画面で「Enter キー」を押すと、メニュー画面が表示されます。メニュー画面で上下キーを押すと、選択される項目が変わり、選択された項目の前に「>」が表示されます。

実行したい項目を選択しましたら、「Enter キー」を押しそれぞれの機能を実施してください。

メニュー画面を抜けるには、「Back キー」を押してトップ画面に戻る事が出来ます。

選択出来るメニュー項目の一覧は、図 16 を確認してください。

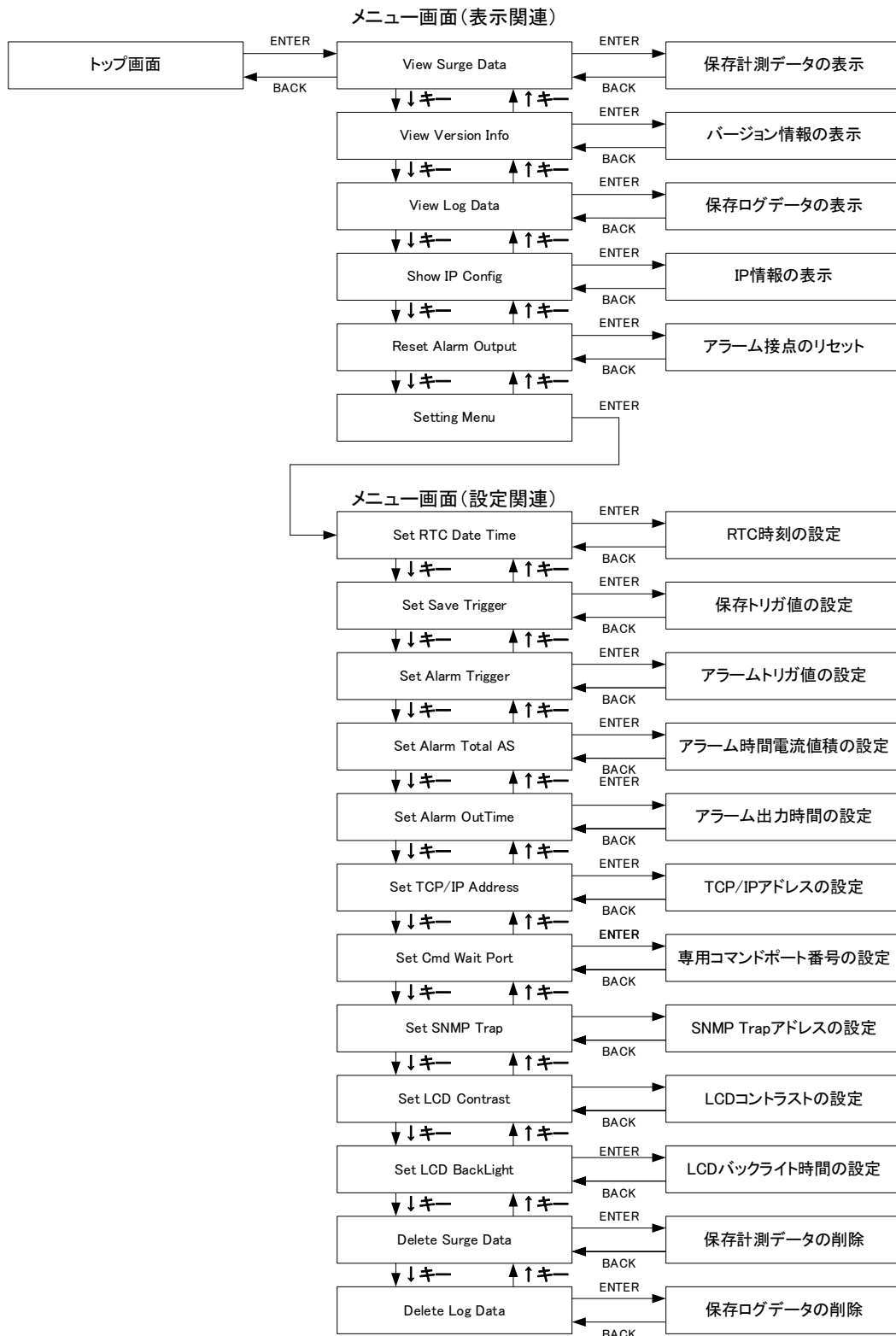


図 16 メニュー項目一覧

7.5. 保存計測データの表示

メニューから「View Surge Data」を選択すると、「保存計測データ表示画面」となります。(図 17)

表示画面に入ると、最新のデータが表示され、↑キーを押すと次に測定されたデータ(最後のデータの場合は、最初のデータ)が表示され、↓キーを押すと前に測定されたデータ(最初のデータの場合は、最後のデータ)が表示されます。

保存データが無い場合は、「Save Surge Nothing」が表示されます。

ENTER キーを押すと、表示される測定項目が、「計測サージ電流値」、「測定時間電流値積」、「積算時間電流値積」と変わります。なお表示される保存データにおいて計測範囲を超えた値の場合、図 18 のような表示となります。

トップ画面に戻るには、「Back キー」を押してください。

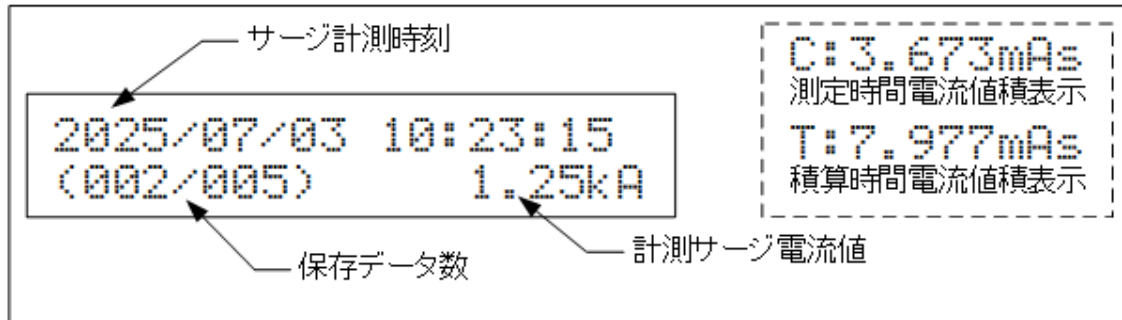


図 17 保存サージデータ

・サージ電流値	*10kA	もしくは	*-10kA
・時間電流値積	*C:10As		
・積算時間電流値積	*T:9999As		

図 18 保存データが計測範囲を超えた場合の表示

7.6. バージョン情報の表示

メニューから「View Version Info」を選択すると、「バージョン情報表示画面」となり、雷サージカウンタファームウェアのバージョンを表示することが出来ます。(図 19)

「Back キー」を押すと、トップ画面に戻ります。

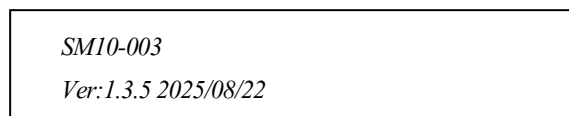


図 19 バージョン情報画面

7.7. ログデータの表示

メニューから「View Log Data」を選択すると、「保存ログデータ表示画面」となり、起動時のログやアラームログ等を表示出来ます。(図 20)

保存されたログデータが無い場合は、「Save Log Nothing」が表示されます。

「上下キー」を押すと、保存されているログを切り換える事が出来ます。また、「ENTER キー」を押すと、ログ番号表示と日付時刻表示を切り換える事が出来ます。

「Back キー」を押すと、トップ画面に戻ります。

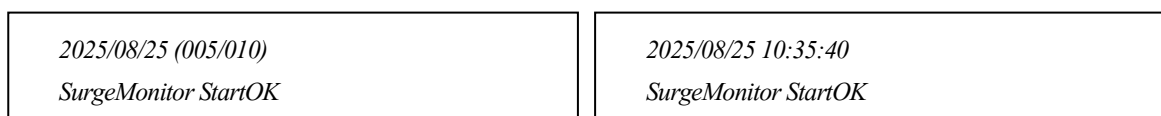


図 20 ログデータ表示画面 (ログ番号表示、日付時刻表示)

7.8. IP情報の表示

メニューから「*Show IP Config*」を選択すると、「IP情報表示画面」となり、ネットワークの設定状況を表示することが出来ます。(図 21)

表示出来る情報は、「ステータス」、「DHCP の設定」、「設定されている IP アドレス」、「設定されているネットマスク」、「設定されているデフォルトゲートウェイ」、「専用コマンドの待ち受けポート番号」、「MAC アドレス」と7種類の情報を表示することが可能で、上下キーを押すと表示する情報を変更することが出来ます。

「Back キー」を押すと、トップ画面に戻ります。

IP設定を変更したい場合は、「8.6 TCP/IPアドレスの設定」を参照して変更してください。

<i>Status:TCP/IP OK</i> <i>Enable DHCP : YES</i>
<i>IP:192.168.1.1</i> <i>NM:255.255.255.0</i>
<i>GW:192.168.1.254</i> <i>Wait PortNum :10001</i>

図 21 IP情報画面

※LANケーブルが接続されていない場合や、DHCPからアドレスが取得されていない場合は、「*Status:Wait IP*」と言う表示となり、表示されるアドレスも「-----」となりますので、何時までも接続されない場合は、配線やルーターの設定等をご確認下さい。

7.9. アラーム接点のリセット

メニューから「*Reset Alarm Output*」を選択すると、「アラーム接点のリセット画面」となり、出力されている接点をリセットすることが出来ます。(図 22)

現在アラーム出力されていない場合は、図 23 の画面が表示されます。

アラームの出力時間は、「8.5 アラーム接点出力時間の設定方法」にて設定することが出来ますが、設定を常時アラーム出力とした場合は、この画面にてアラーム接点をリセットしない限りは、電源を再投入後もアラームが出力されます。

出力されているアラームをリセットする場合は、「Enter キー」を押してリセットしてください。

「Back キー」を押すと、トップ画面に戻ります。

<i>Reset Output Alarm?</i> <i>Yes:Enter No:Back</i>
--

図 22 アラーム接点のリセット画面

<i>Alarm Not Output</i> <i>Return:Back</i>

図 23 アラーム出力していない場合の画面

8. 設定

8.1. RTC (リアルタイムクロック) 時刻の設定方法

メニューから「*Setting Menu*」→「*Set RTC Date Time*」を選択すると、「RTC 時刻の設定画面」が表示されます。(図 24) 表示されると「年」を設定するようになっておりますが、「Enter キー」を押すと、年→月→日→時→分→秒の順に設定項目を変更する事が出来ます。また、「Back キー」を押すと、前の項目に戻る事が出来ます。

「上下キー」を押すと、値を1つずつ変えることが出来、長押しした際は、値が5ずつ変更されます。

秒の設定が終わり、「Enter キー」を押すと、確認画面 (図 25) が表示されますので、時刻を設定する場合は、「Enter キー」を押してください。

時刻の設定が成功すると、「*RTC DateTime Set OK!*」が表示されます。

値の設定を行わない時は、「Back キー」を押して、設定メニュー画面に戻ってください。

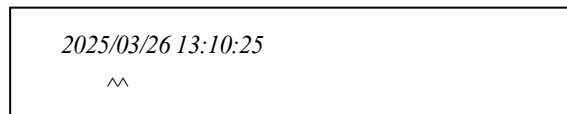


図 24 RTC 時刻表示画面

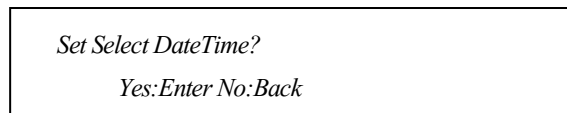


図 25 RTC 時刻設定確認画面

8.2. 保存トリガー値の設定方法

メニューから「*Setting Menu*」→「*Set Save Trigger*」を選択すると、「保存トリガー値の設定画面」が表示されます。(図 26)

測定されたサージ電流値が、ここで設定された値を超えるとサージモニタの内蔵メモリに測定データが保存されます。

「上下キー」を押すと、10A～5000A まで 10A ずつ値が変更され、長押しした際は値が 100A ずつ変更されます。

「Enter キー」を押すと、入力された値を設定し、値の設定が成功すると、「*Save Trigger Set OK!*」のメッセージが表示されます。

値の設定を行わない時は、「Back キー」を押して、設定メニュー画面に戻ってください。

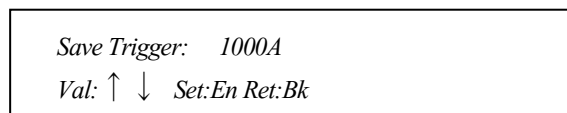


図 26 保存トリガー値の設定画面

8.3. アラームトリガ値の設定方法

メニューから「Setting Menu」→「Set Alarm Trigger」を選択すると、「アラームトリガ値の設定画面」が表示されます。
(図 27)

測定されたサージ電流値が、ここで設定された値を超えると無電圧接点出力としてアラームが出力されます。出力されるアラームの時間は、「8.5 アラーム接点出力時間の設定方法」にて変更することが出来ます。

「上下キー」を押すと、10A～5000A まで 10A ずつ値が変更され、長押しした際は値が 100A ずつ変更されます。

また、設定値「10A」の状態、さらに下キーを押すと「OFF」表示となり、アラームを出力しない設定とする事も出来ます。

「Enter キー」を押すと、入力された値を設定し、値の設定が成功すると、「Alarm Trigger Set OK!」のメッセージが表示されます。

値の設定を行わない時は、「Back キー」を押して、設定メニュー画面に戻ってください。



図 27 アラームトリガー値の設定画面

8.4. アラーム時間電流値積の設定方法

メニューから「Setting Menu」→「Set Alarm Total AS」を選択すると、「アラーム積算時間電流値積の設定画面」が表示されます。(図 28)

「上下キー」を押すと、1mAs～999As まで、設定された値に応じた量ずつ変更されます。長押しした際は、変化量が大きくなります。

また、設定値 1mAs の状態で、さらに下キーを押すと「OFF」表示となり、アラームを出力しない設定とする事も出来ます。

「Enter キー」を押すと、入力された値を設定し、値の設定が成功すると、「Alarm Total AS Set OK!」のメッセージが表示されます。

値の設定を行わない時は、「Back キー」を押して、設定メニュー画面に戻ってください。

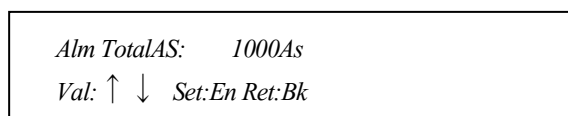


図 28 アラーム時間電流値積の設定画面

8.5. アラーム接点出力時間の設定方法

メニューから「*Setting Menu*」→「*Set Alarm OutTime*」を選択すると、「アラーム出力時間の設定画面」が表示されます。
(図 29)

「上下キー」を押すと 1～60 秒まで 1 秒ずつ値が変更され、長押しした際は値が 10 秒ずつ変更されます。
設定値「1s」の状態、さらに下キーを押すと「OFF」表示となり、アラームを出力しない設定とする事も出来ます。

また、設定値「60s」の状態、さらに上キーを押すと「*Alarm Always Output*」表示となり、常時アラーム出力とする事も出来ます。

常時アラーム出力とした際は、「7. 9 アラーム接点のリセット」にて出力を停止するまで、電源を再投入してもアラームが出力されます。

「Enter キー」を押すと、入力された値を設定し、値の設定が成功すると、「*Alarm OutTime Set OK!*」のメッセージが表示されます。

値の設定を行わない時は、「Back キー」を押して、設定メニュー画面に戻ってください。

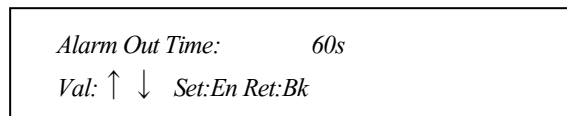


図 29 アラーム出力時間の設定画面

8.6. TCP/IPアドレスの設定

メニューから「*Set TCP/IP Address*」を選択すると、「TCP/IPアドレス設定画面」となり、ネットワークの設定をすることが出来ます。

まず最初に、図 30 のDHCP使用選択画面が表示されますので、DHCPを使用する場合は、「Enter キー」を押して設定を完了してください。

手動でアドレスを指定したい場合は、上下キーにて「No」を選択し、「Enter キー」を押すと IP アドレスの設定画面に移行します。(図 31)

「上下キー」にて設定したいアドレスに変更し、「Enter キー」を押して次の項目に移ります。アドレスの最後の項目にて「Enter キー」を押すと、ネットマスクの設定画面に移行し、さらにネットマスクの最後の項目にて「Enter キー」を押すとデフォルトゲートウェイの設定画面に移行しますので、全てのアドレスを設定したいアドレスに変更して下さい。

デフォルトゲートウェイの設定も完了すると図 32 の IP アドレス設定確認画面が表示されますので、設定したい場合は「Enter キー」を押して設定を確定してください。

「Back キー」を押すと、設定メニュー画面に戻ります。

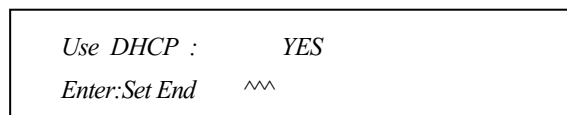


図 30 DHCP使用選択画面



図 31 IPアドレス設定画面

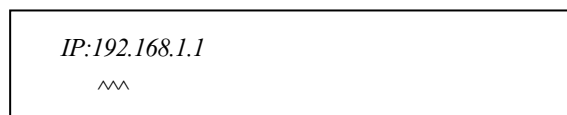


図 32 IPアドレス設定確認画面

8.7. 専用コマンドポート番号の設定

メニューから「*Set Cmd Wait Port*」を選択すると、「専用コマンドポート番号の設定画面」となり、専用アプリケーションで使用するポート番号を変更することが出来ます。(図 33)

通常は、デフォルトのポート番号「10001」から変更する必要はありませんが、変更したい場合はこの画面にて変更してください。

「上下キー」を押すと、1 ずつ値が変更され、長押しした際は値が 100 ずつ変更されます。

「Enter キー」を押すと、入力された値を設定し、値の設定が成功すると、「*Wait Port Num Set OK!*」のメッセージが表示されます。

「Back キー」を押すと、設定メニュー画面に戻ります。

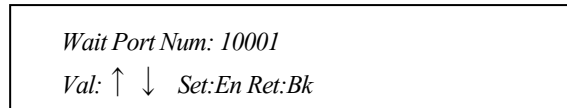


図 33 専用コマンドポート番号設定画面

8.8. SNMP Trap 送信先アドレスの設定

メニューから「*Set SNMP Trap*」を選択すると、「SNMP Trap 送信先アドレスの設定画面」となり、アラームが発生した際の SNMP Trap 送信先アドレスを設定することが出来ます。(図 34)

「上下キー」にて設定したいアドレスに変更し、「Enter キー」を押して次の項目に移ります。アドレスの最後の項目にて「Enter キー」を押すと、図 35 の設定確認画面が表示されます。

「Enter キー」を押すと、入力された値を設定し、値の設定が成功すると、「*Trap Addr Set OK!*」のメッセージが表示されます。

「Back キー」を押すと、設定メニュー画面に戻ります。



図 34 SNMP Trap 送信先アドレスの設定画面



図 35 送信先アドレス設定確認画面

8.9. LCD コントラストの設定

メニューから「*Setting Menu*」→「*Set LCD Contrast*」を選択すると、「LCD コントラストの設定画面」が表示されます。(図 36)

「上下キー」を押すと、25～63 まで値が変更され、長押しした際は値が 10 秒ずつ変更されます。

値が大きくなるほど LCD に表示される文字の濃さが濃くなり、値が小さくなるほど文字が薄くなります。デフォルトは、30 に設定されています。

「Enter キー」を押すと、入力された値を設定し、値の設定が成功すると、「*LCD Contrast Set OK!*」のメッセージが表示されます。

値の設定を行わない時は、「Back キー」を押して、トップ画面に戻ってください。

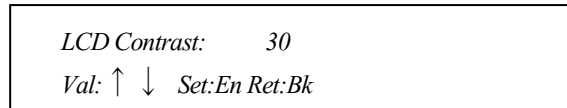


図 36 LCD コントラストの設定画面

8.10. LCD バックライト点灯時間の設定方法

メニューから「*Setting Menu*」→「*Set LCD BackLight*」を選択すると、「LCD バックライト時間の設定画面」が表示されます。(図 37)

「上下キー」を押すと、OFF (点灯しない) ⇔10sec (10 秒点灯) ⇔1min (1 分点灯) ⇔10min (10 分点灯) ⇔ON (常時点灯) と値が変更されます。

デフォルトは、1 分に設定されています。

「Enter キー」を押すと、入力された値を設定し、値の設定が成功すると、「*LCD BackLight Set OK!*」のメッセージが表示されます。

値の設定を行わない時は、「Back キー」を押して、トップ画面に戻ってください。

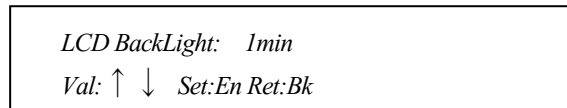


図 37 LCD バックライト点灯時間の設定画面

9. データの削除

9.1. 保存された測定サージデータの削除方法

メニューから「*Setting Menu*」→「*Delete Surge Data*」を選択すると、「保存計測データの削除画面」が表示されます。(図 38)

保存データが無い場合は、「*Delete Data Nothing*」が表示されます。

「Enter キー」を押すと、保存されている全ての計測データが削除され、削除が成功すると、「*Delete Complete!*」のメッセージが表示されます。

削除を行わない時は、「Back キー」を押して、トップ画面に戻ってください。

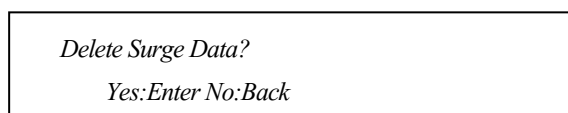


図 38 保存計測データの削除画面

9.2. ログデータの削除方法

メニューから「*Setting Menu*」→「*Delete Log Data*」を選択すると、「保存ログデータの削除画面」が表示されます。(図 39)

保存データが無い場合は、「*Delete Data Nothing*」が表示されます。

「Enter キー」を押すと、保存されている全てのログデータが削除され、削除が成功すると、「*Delete Complete!*」のメッセージが表示されます。

削除を行わない時は、「Back キー」を押して、トップ画面に戻ってください。

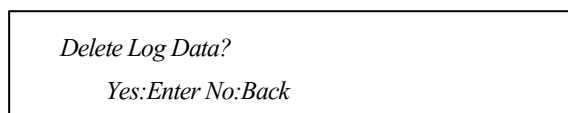


図 39 保存ログデータの削除画面

10. お問い合わせ先

- 株式会社サンコーシヤ
〒141-0032
東京都品川区大崎2丁目11番1号大崎ウイズタワー18階
TEL:03-3491-7181(代表)、03-3491-2525(営業本部)
FAX:03-3494-7574(代表)、03-5496-4289(営業本部)
- 北海道支店
〒060-0062
北海道札幌市中央区南二条西10丁目1番4号第2サントービル7F
TEL:011-271-0050
FAX:011-271-0072
- 東北支店
〒980-0811
宮城県仙台市青葉区一番町2丁目7番12号南町通MKビル7F
TEL:022-223-8131
FAX:022-267-6305
- 中部支店
〒468-0058
愛知県名古屋市天白区植田西2丁目110番1号
TEL:052-680-8821
FAX:052-680-8828
- 関西支店
〒530-0051
大阪府大阪市北区太融寺町2番22号梅田八千代ビル5F
TEL:06-6361-7801
FAX:06-6361-5540
- 中国支店
〒730-0015
広島県広島市中区橋本町9番7号Dolce Square 6F
TEL:082-222-3548
FAX:082-222-3549
- 株式会社北陸サンコーシヤ
〒930-0004
富山県富山市桜橋通り1番18号北日本桜橋ビル8F
TEL:076-432-5210
FAX:076-432-4736
- 九州山光社
〒810-0004
福岡県福岡市中央区渡辺通2丁188番10号
TEL:092-761-4336
FAX:092-712-3126